

■開催趣旨

防災・減災のために、家庭で・地域で・子ども会で何ができるか
何を備えるか、次代を担う子どもたちに伝えるためにみんなで考える

■期日

2014年7月6日(日) 9:30~12:30 (3時間)

■会場

加古川市青少年女性センター 3階 会議室

■参加者

28名 (大学生青少年リーダー18名、子ども会育成者10名)

■概要

阪神・淡路大震災当時のまちなぎの様子をスライドショーで鑑賞し、
被災体験を語り部(講師)に聞いた後、防災・減災に向けて、
家庭、地域や子ども会でできることを全員参加型の意見交換で考えた

■実施スケジュール

時間	内容
9:30	あいさつ つなぐ手プロジェクト実行委員 東播磨地区子ども会連絡協議会会長 七條勝
9:40	オープニングスライド 「阪神淡路大震災って…」
9:50	語り部によるお話し 「1.17 あのとき私は、あれから地域は、そして…」
10:10	全員参加型即答フリップ方式ディスカッション 「考えてみよう!子ども会でできる災害への備え」
12:30	終了・事務連絡 加古川市子ども会連絡協議会会長

■語り部

加古川市少年団指導者協議会会長
会長 原忠司氏

■ワークショップ

ファシリテーター 井上俊裕氏 浅見真一
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 5名

■会場の様子



開会あいさつ



ディスカッション

■参加者の感想

- ・いろいろなアイデアを聞いて良かったが現実には難しい
- ・いつ何が起こるかわからない
- ・足りない事の気づきがあった
- ・防災グッズを用意しよう
- ・まだまだ頭の中の話
- ・考え直すことができてよかった
- ・日ごろの備えが大事
- ・防災のことだけでも考えることが山のようにある
- ・明日は我が身
- ・こういうことが大事なんだ
- ・人見知りだけど、意外としゃべれた